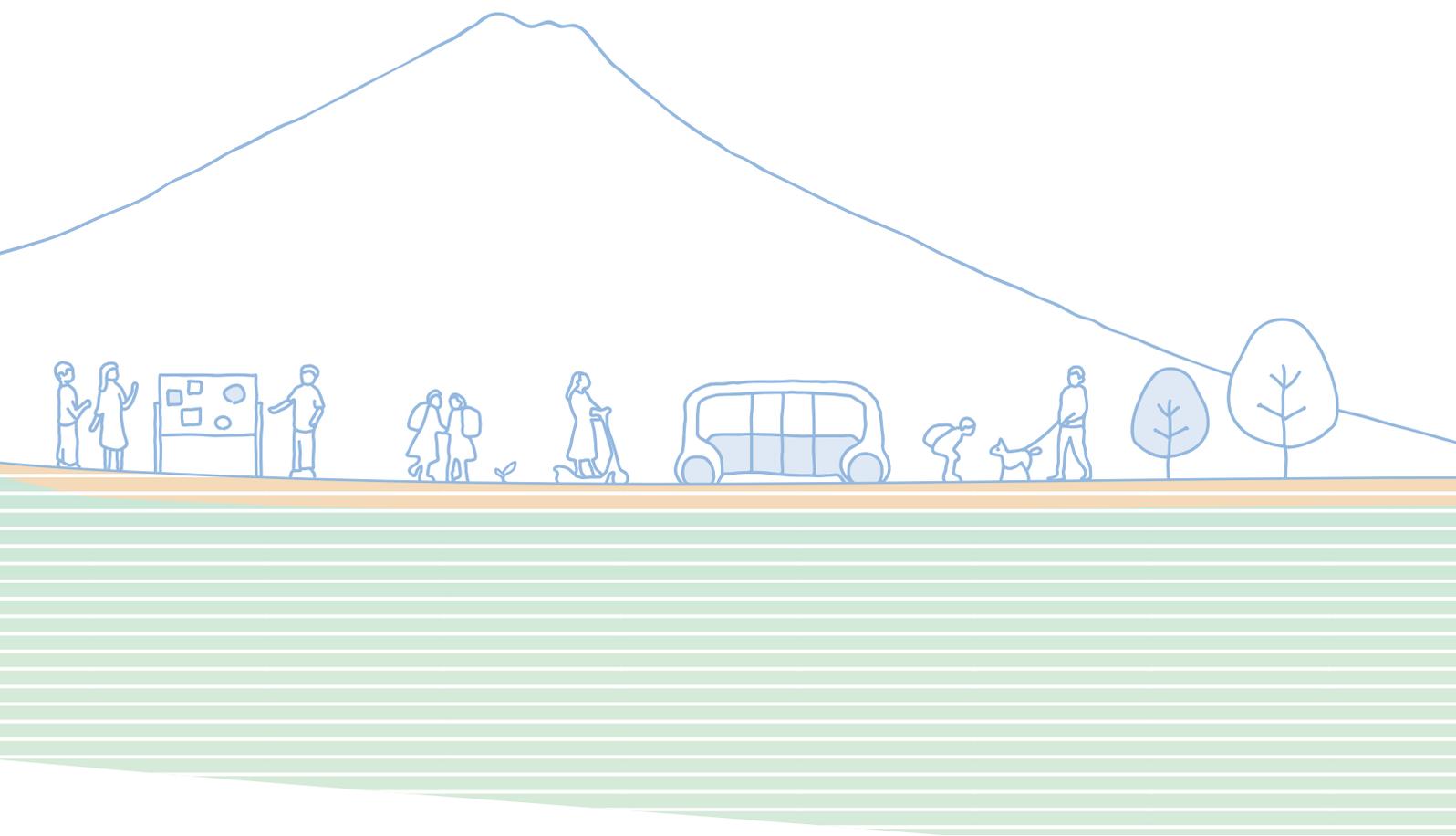


岩波駅周辺 まちづくりの道しるべ(概要版)

- まちづくりデザインノート -



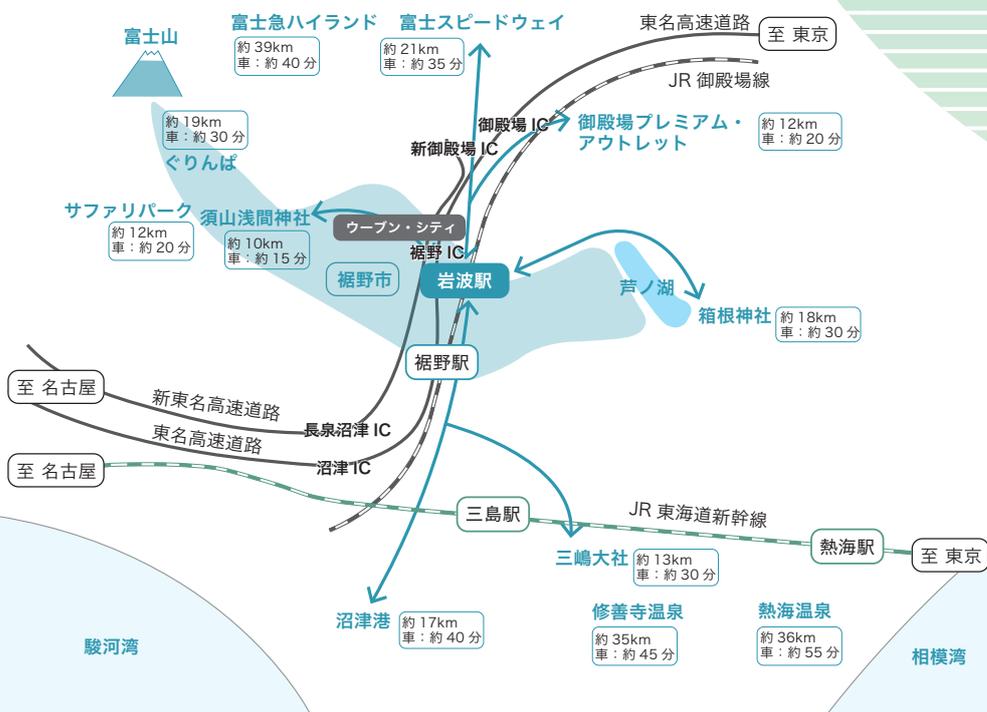
令和5年3月



静岡県
Susono City

裾野市

広域案内図

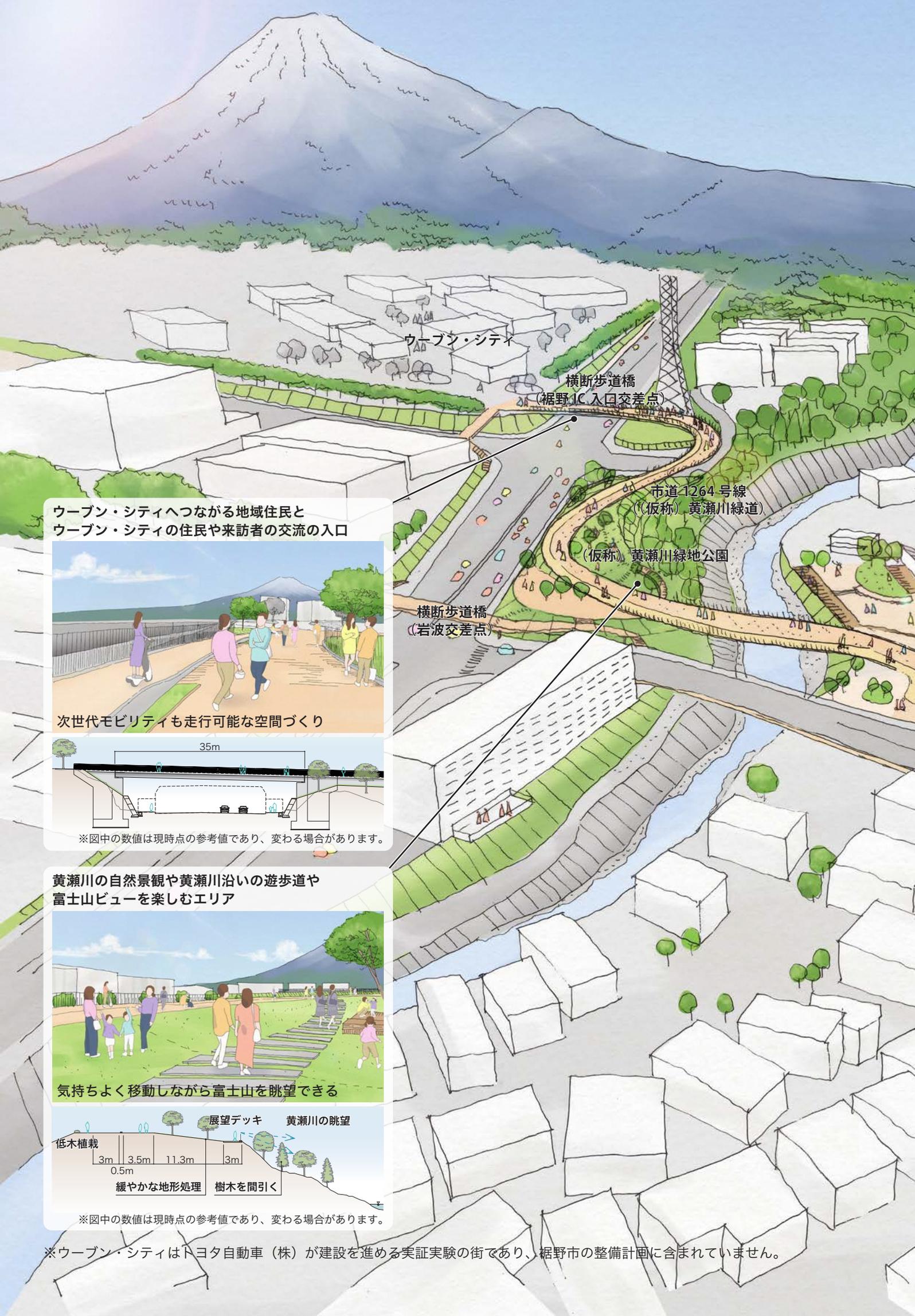


岩波駅周辺 まちづくりの道しるべ (概要版) - まちづくりデザインノート -

令和 5 年 3 月

発行：裾野市 建設部
ウーブン・シティ周辺整備課

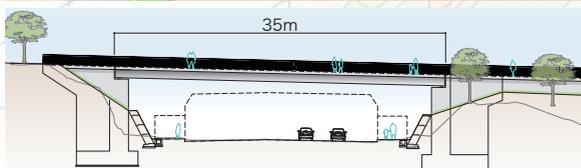
〒410-1192 静岡県裾野市佐野 1059 番地
TEL 055-994-9010/FAX 055-994-0272



**ウーブン・シティへつながる地域住民と
ウーブン・シティの住民や来訪者の交流の入口**



次世代モビリティも走行可能な空間づくり



※図中の数値は現時点の参考値であり、変わる場合があります。

**黄瀬川の自然景観や黄瀬川沿いの遊歩道や
富士山ビューを楽しむエリア**



気持ちよく移動しながら富士山を眺望できる



※図中の数値は現時点の参考値であり、変わる場合があります。

※ウーブン・シティはトヨタ自動車（株）が建設を進める実証実験の街であり、裾野市の整備計画に含まれていません。

岩波駅周辺まちづくりの設計方針を基にした全体イメージです。まちづくりデザインの実現により、岩波駅周辺のまちが魅力的な空間となることを目指します。



歩行空間及び交流・賑わい施設の充実とともに、日常的な機能・利便性を考慮した駅前交通結節点エリア



真っすぐ伸びる歩行者動線の先に富士山の眺望が目に入る



原風景として残る石材 (溶岩) や用水を身近に感じる



※図中の数値は現時点の参考値であり、変わる場合があります。

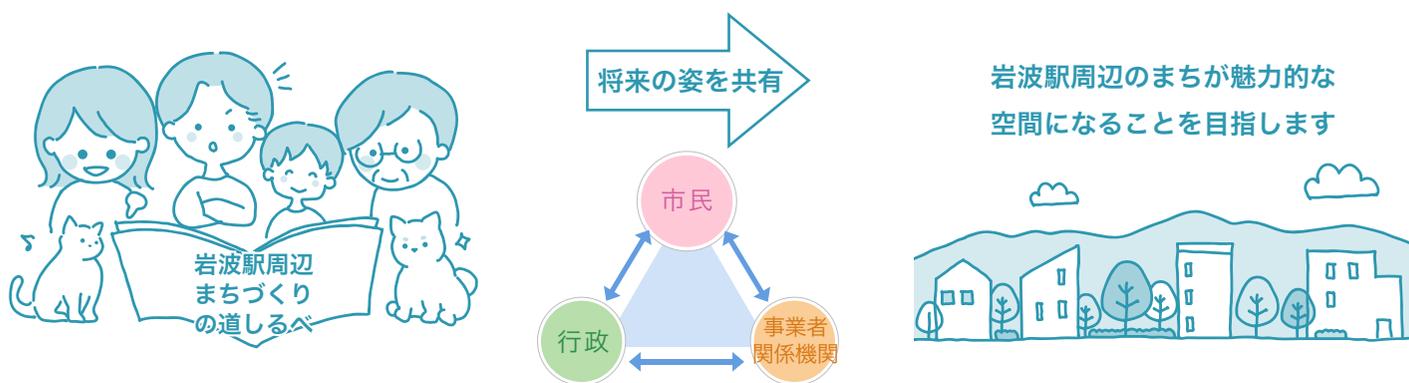
「岩波駅周辺まちづくりの道しるべ」について

- まちづくりデザインノート -

「岩波駅周辺まちづくりの道しるべ」は、岩波駅周辺地区まちづくりワークショップや岩波駅周辺地区まちづくり技術検討会、岩波駅周辺地区まちづくり推進会議などの議論を踏まえた**岩波駅周辺の「まちづくりデザイン」の基本的な指針**です。この基本的な指針をもとに、岩波駅周辺整備に際しては、設計方針やエリアの考え方などに沿って、関係機関と協議・調整を行いながら進めていくこととなります。さらに地域住民・行政・事業者など**本事業に関わる全ての人々が将来の姿を共有**することで、**岩波駅周辺のまちが魅力的な空間となることを目指す**ものです。

※本書に記載している「まちづくりデザイン」とは、施設の形状や色調といった目に見えるものだけでなく、空間の使い方や機能性、事業全体の進捗管理や供用後の管理運営を含めた概念を示しています。

※本書に記載されている名称や計画内容は2023年（令和5年）3月時点の情報を元にしており、計画内容や名称などについては変更する可能性があります。



◆これまでの経緯と岩波駅周辺の地域資源

◆これまでの経緯

ウーブン・シティの発表をはじめとする大きな状況変化も踏まえ、裾野市では、2021年1月に第5次裾野市総合計画を策定し、「みんなが誇る豊かな田園未来都市すその」を将来像に掲げ、「次世代型近未来都市の形成」や「駅周辺等の拠点づくりと多様な世代の交流の促進」に向けた取り組みの1つに岩波駅周辺整備を位置づけました。また、2021年4月に「裾野市北部地域まちづくり基本構想」を策定し、裾野市北部地域の各種計画を整理し構想としてまとめました。岩波駅周辺地区については、短期構想（2025年度までの概ね5年程度）の整備に位置づけ、北部地域の交通結節点や交流の拠点を整備していくこととしています。これらの経緯を踏まえ、2022年3月に「岩波駅周辺地区まちづくり基本計画」を策定し、まちの将来像を『**岩波らしい自然と未来技術でつながるまち**』と決めました。

◆岩波駅周辺の地域資源

岩波駅周辺には、黄瀬川等の自然景観を有するほか、用水や溶岩の石積みといった過去の営みの面影が残されています。岩波の自然景観や歴史といった地域資源を活用し、岩波らしい空間づくりを目指します。



黄瀬川沿いの樹林地



黄瀬川



用水や溶岩の石積み



螢の生息地

◆原風景から見る地域資源と人々の生活

「岩波駅周辺まちづくりの道しるべ」では、岩波駅周辺の未来を描くものですが、これまでの裾野（岩波）で暮らす人々の生活と共に培われてきた地域資源や風景を大切にしていきたいという思いを共有できるように過去の写真をイメージとして紹介します。

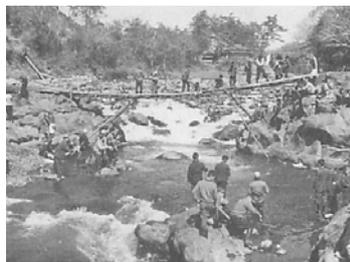
原風景の写真からは、裾野（岩波）で暮らす人々の生活には富士山の眺望や富士山のすそ野における田園や用水路、黄瀬川の溶岩などが何気ない日常の中にあることが伝わってきます。世の中の状況が変化する中であっても、**地域資源や風景を過去から現在、未来に受け継いでいくことができる岩波駅周辺のまちづくり**を実現していきます。



富士山とともにある暮らしの風景
富士山と茶畑の風景



緑豊かな農村風景
昔の農業の様子



黄瀬川とともにある暮らしの風景
マス釣り大会の様子



岩波駅での賑わいのある風景
岩波駅開業30周年記念行事の様子

◆岩波駅周辺まちづくりの設計方針

「岩波駅周辺まちづくりの道しるべ」では、『**富士山麓の美しい風景に未来技術が溶け込む、地域が主役のまちづくり**』を主題とし、3つの設計方針を設定します。

設計方針 1 富士山、愛鷹山、箱根山のすそ野に広がるふるさとの原風景を大切にするまちづくり



設計方針 2 未来技術を取り入れ、住む人・働く人・訪れる人にとって居心地と使い勝手の良い岩波の価値を高めるまちづくり



設計方針 3 人と人との交流が賑わいと心地よい公共空間を創り出す人が主役のまちづくり



出典: <https://kashiwa.gogyu.net.jp/2020/03/03/study-cafe-kashiwa-manui-studio/>

◆まちづくりとしての一体感を創出するためのデザインコード

岩波駅周辺にふさわしい良好な景観を形成するために、目標と目標を達成するために重要と考える公共空間構成要素について方向性を示します。また、岩波駅周辺のまちづくりにあたっては、裾野市の景観計画や屋外広告物のルール、静岡県の「ふじのくに色彩・デザイン指針」の考えも踏まえたものとします。

目標			
	目標1 岩波らしい風景をつくるために	目標2 未来技術を取り入れた一体的なまちなみ創出のために	目標3 人が主役の心地よい空間づくりのために
公共空間構成要素	舗装	素材の統一	温かみある素材の利用
	柵・手すり	透過性への配慮	素材の統一
	照明	配置の工夫	落ち着きのある夜間景観
	ストリートファニチャー 道路附属物	素材の統一 色彩の統一	居心地への配慮 温かみのある素材の利用 道路附属物の集約・配置の配慮
	擁壁等	溶岩などの利用	土や緑による地形処理



例：スレンダーな橋梁



例：高欄に付属させた照明



例：既存樹を取り入れた広場空間

◆未来技術の取り組み

「岩波駅周辺まちづくりの道しるべ」では岩波の価値を高めるまちづくりを目指し、未来技術を活用していく取り組みを考えています。

①大切に地域資源を未来に受け継ぐこと

岩波や裾野市、静岡県東部等、地域の素材や技術、産業の特性を活かすことなどを検討していきます。

②未来の環境負荷の低減に寄与すること

再生材や廃棄材といった素材の活用や再生品の採用、環境負荷の少ない移動手段への対応・利便性向上などカーボンニュートラルの取り組みを検討していきます。

③持続可能なまちやひとを育むこと

まちづくりの主役である市民の方が継続的な活動や空間を柔軟に活用できる設えや仕組みを検討し、市民の方が考え、話し、楽しんで参加できるコミュニティの醸成に繋げていくことを目指します。

例：「パーソナルモビリティ」



環境負荷が少ない次世代型モビリティの導入を図ります。また、これに対応したハード整備にも取り組んでいきます。

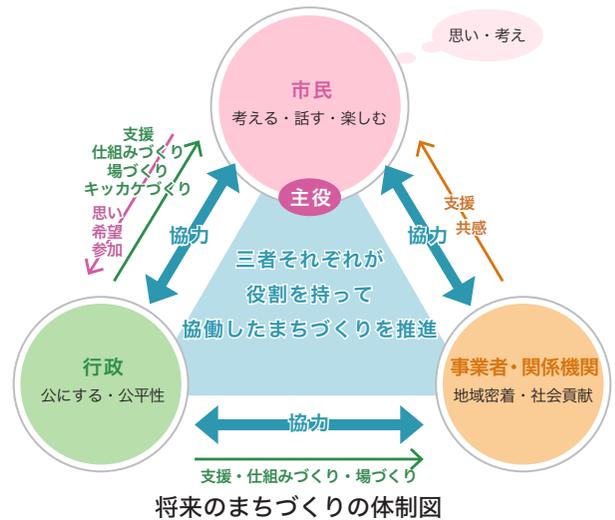
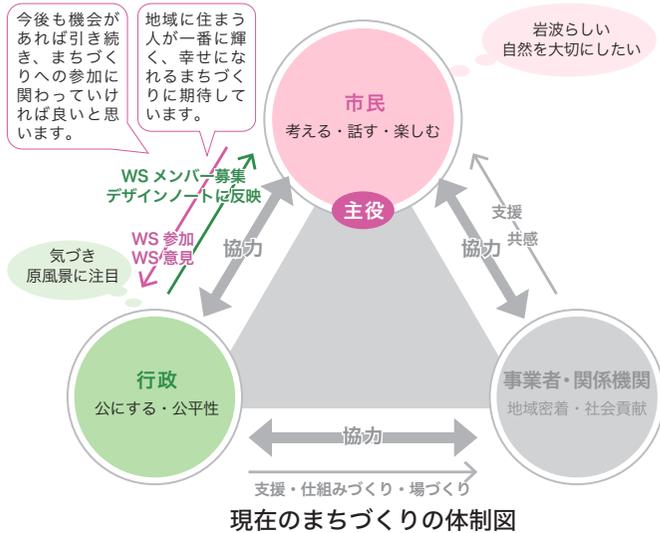
例：「竹チップ舗装」



裾野市内で竹林整備等の環境保全、コミュニティ醸成の事業を行う団体の協力を得て、地域で発生した竹チップを混ぜた舗装の採用により環境負荷の低減を図っていく未来技術。

◆まちづくりデザインの実現に向けて

①協働のまちづくりを目指していきます。(市民協働のまちづくり)



◆市民による考案と発意

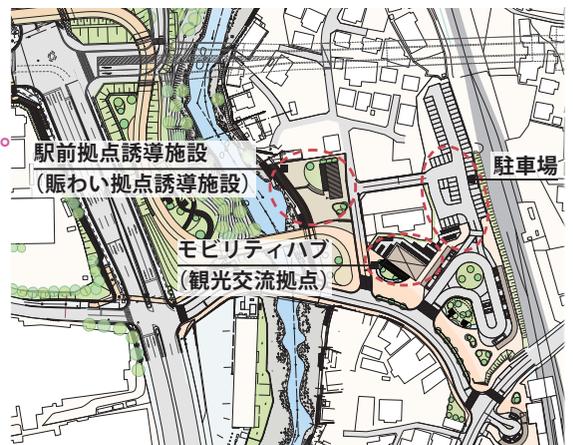
- ②市民が主役の交流と賑わいの創出に取り組みます。(市民が主役のまちづくり)
- ③魅力的な景観を維持向上させる市民の意識の醸成に繋がっていきます。

◆事業者・関係機関の役割

- ④民間の活力による空間づくりの検討を行います。
- ⑤民間企業とのつながり・協力ができる取組を目指します。
- ⑥まちのデザインの実現に対する深化の必要性(技術編の作成)

◆行政の役割

- ⑦アドバイザー組織(専門家の意見を得て事業を推進)
- ⑧岩波駅周辺まちづくり推進会議(まちづくりのチェック)



■民間活力の導入を検討する範囲

◆段階整備計画(参考)

岩波駅周辺のまちづくりは、段階的な計画により整備を推進していきます。優先的に整備する施設は、基本計画の見直し年次である2026年度の完成を目標としています。また、「駅前拠点誘導施設」(賑わい拠点誘導施設)「モビリティハブ・情報発信施設」については民間活力を活用した整備を検討します。

◆段階的整備計画の事業工程

整備項目		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度以降
市民協働	まちづくり協議	地域住民、周辺企業等の参加によるまちづくり協議(やりたいこと整備内容)				継続
	賑わい創出の取り組み	地域住民、周辺企業等の参加によるイベントの開催各種実証等				継続
岩波駅前交通広場						
岩波駅前広場						
モビリティハブ情報発信施設						
(仮称)賑わい広場		まちづくり活動広場整備				
市道1-12号線						
市道1264号線((仮称)黄瀬川緑道)						
横断歩道橋(裾野IC入口交差点)						
(仮称)黄瀬川緑地公園(緑地・交流施設)		南側緑地公園				
進捗管理(計画見直し)		ウーブン・シティの一部オープンによる影響を踏まえた見直し				
デザインの整合性確認						継続
岩波駅周辺まちづくりの方向性確認						継続